

みずほCustomer Desk Report 2024/11/27号(As of 2024/11/26)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	154.25 AUD/USD
TKY 9:00AM	154.33	1.0444	161.16	1.2530	0.6464
SYD-NY High	154.48	1.0544	162.00	1.2616	0.6507
SYD-NY Low	152.99	1.0425	160.31	1.2512	0.6434
NY 5:00 PM	153.10	1.0490	160.63	1.2568	0.6474
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,860.31	123.74	日本2年債	0.5900%	0.0000%
NASDAQ	19,174.30	119.46	日本10年債	1.0600%	▲0.0100%
S&P	6,021.63	34.26	米国2年債	4.2468%	▲0.0238%
日経平均	38,442.00	▲338.14	米国5年債	4.1820%	0.0071%
TOPIX	2,689.55	▲26.05	米国10年債	4.2936%	0.0195%
シカゴ日経先物	38,355.00	▲470.00	独10年債	2.1980%	▲0.0055%
ロンドンFT	8,258.61	▲33.07	英10年債	4.3520%	0.0090%
DAX	19,295.98	▲109.22	豪10年債	4.4360%	▲0.0500%
ハンセン指数	19,159.20	8.21	USDJPY 1M Vol	11.50%	0.09%
上海総合	3,259.76	▲4.00	USDJPY 3M Vol	10.88%	0.11%
NY金	2,621.30	2.80	USDJPY 6M Vol	10.59%	▲0.01%
WTI	68.77	▲0.17	USDJPY 1M 25RR	▲1.73%	Yen Call Over
CRB指数	288.02	0.51	EURJPY 3M Vol	10.99%	0.22%
ドルインデックス	107.01	0.20	EURJPY 6M Vol	10.79%	0.16%

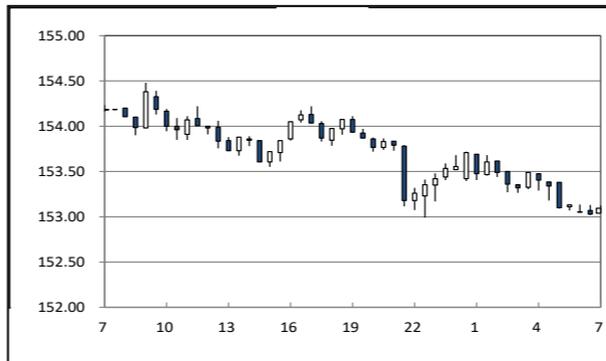
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月27日	00:00	米 新築住宅販売件数	10月 610k	725k
	00:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	11月 111.7	111.8
	04:00	米 FOMC議事録	7-Nov 中立的な政策スタンスに緩やかに移行	

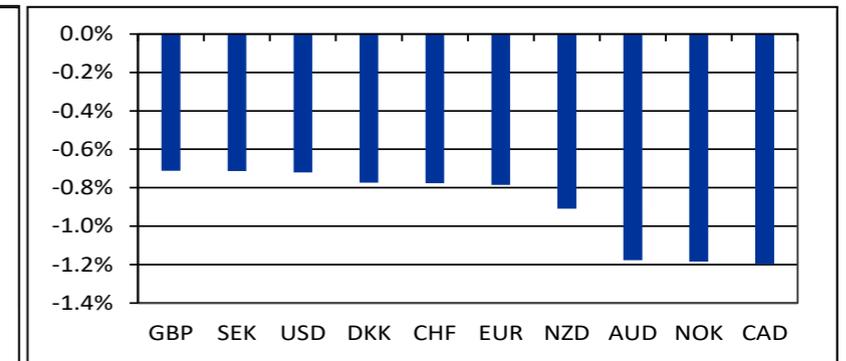
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月27日	09:30	豪 CPI(前年比)	10月 2.3%	2.1%
	09:30	豪 CPIトリム平均値(前年比)	10月 -	3.2%
	22:30	米 GDP(年率/前期比)	3Q S 2.8%	2.8%
	22:30	米 個人消費	3Q S 3.7%	3.7%
	22:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	10月 0.1%	-0.2%
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	10月 0.5%	-0.7%
	22:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	10月 0.1%	0.5%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	23-Nov 215k	213k
11月28日	00:00	米 PCE価格指数(前月比/前年比)	10月 0.2%/2.3%	0.2%/2.1%
	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	10月 -2.0%	7.4%
	03:00	欧 レーン・ECB専務理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	152.50 - 153.50	1.0450 - 1.0550	159.90 - 161.10

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円相場はやや円高に推移。停戦合意が待たれる中でのイスラエルが空爆との報道にリスクオフの円買いが進み、153円ちょうど近辺まで下落。その後はやや戻すも153円前半での推移となった。昨日東京時間に流れたトランプ次期米大統領による関税強化との報道で対象となった人民元、メキシコペソ、カナダドルは弱含みの推移となった。

先週末、トランプ次期政権での新財務長官の報道や昨日の関税報道など、トランプ次期政権関連の報道に相場が振り回される展開が続いている。明日の米感謝祭を前に本日も突発的な報道が出る可能性もあり注意が必要。一方で停戦合意で原油価格が下落しており、本邦貿易赤字縮小の思惑から更なる原油価格下落は円買いに作用しやすい。また米感謝祭前にトランプトレードのポジション調整も起こりやすくこれも円買いに働きやすい。これら円買い圧力と月末のドル買い需要とで小動きに推移する展開が予想される。

東京	東京時間のドル円は154.33レベルでオープン。午前中にトランプ氏による中国等に対する関税強化が明言されると、一時的に円安で反応も、その後は日経平均の下落する動きにリスク回避的な円買いが優勢に。ドル円は軟調な推移を続け153.55まで値を下げる。引けにかけてはやや値を戻し153.84レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、153.84レベルでオープン。特段のヘッドラインはない中、海外時間からの円買いが継続しクロス円の下落を伴って153.08まで売られる。その後反発し、153.23レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は154円前半でスタート。トランプ次期大統領が就任初日に中国、メキシコとカナダの輸入品に対し追加関税を課すとの考えを示すと、関税政策の先行きの不透明さが懸念され、リスクオフの円買いが先行した事と米金利の低下が相まって、軟調な値動きとなり、153.23レベルでNYオープン。午前中に発表された米10月新築住宅販売件数や、米11月コンファレンスボード消費者信頼感指数が予想を下回るも、ドル円は反応薄。その後も米金利が上昇する展開を横目に底堅く推移し、153.72まで上昇する。午後は低調な米5年債の入札結果や、11月FOMC議事録では「データ次第で利下げペースが加速する可能性もある」との文言を受け、米金利の低下を背景に上値重い推移が続き、153.10レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.04後半でスタート。先述のトランプ次期大統領の追加関税に関する発言を受け、ドル買いが優勢となり、1.0425まで下落。しかし、その後は米金利の低下がサポートとなり、じり高で推移し、1.0524レベルでNYオープン。午前中は米金利が上昇幅を拡大する動きが上値を抑え、軟調な値動きとなり、1.0480付近まで反落。午後は1.0457まで値を下げる場面もあったが、その後小幅反発し、1.0490レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。